



# 地本NEWS

2016年  
5月18日  
自治労北海道  
網走地方本部  
2016第12号

☆の明日を  
咲かせよう



## 労働者集会開催しました

5月14日から15日までの2日間、大江本家にて労働者集会を開催しました。

主催者を代表して、網走地方本部職能評議会議長である児玉明美さん(北見市労連)から挨拶をうけ、来賓挨拶の後、基調講演では、自治労北海道本部公共サービス政策部長兼村憲三さんから、「公務員労働者を取り巻く状況」と題し、全体で講演を受けました。

講演で兼村さんは、地方交付税により、全国どこにいても標準的な行政サービスが受けられるよう財源保障がされているが、骨太方針2015では、公共サービスの産業化やインセンティブ改革など明らかに交付税を削減する方向となっている。特に、業務の外部委託や人件費削減等の合理化・効率化を進めた自治体に対し地方交付税算定を優遇するトップランナー方式により、取り組みを進めようとしている。

しかし、本来の交付税制度を無視しているものであり、合理化などにより経費が削減されることにより、その水準を基準とした交付税算定が進められ、交付税が引き下げられる。そのことにより、非正規化が進められたり臨時・非常勤職員の人件費削減などにつながり、委託業者ではワーキングプアにつながるような賃金の引き下げなど処遇の悪化が懸念される。



また、2次医療圏を基本とする北海道が定める地域医療構想にむけた早め早めの取り組みが必要との話がありました。その後、1日目の後半から2日目にかけて、現業公企部門、社会福祉部門、保育部門に分かれ、部門別講演・分科会を実施し、各部門における現状と課題を共有しました。

また、今回の労働者集会では、社会経験採用者部門を新たに設置し、最近採用された社会経験採用者向けの学習会(自治労の取り組み、全労済、労金の学習)を開催しています。

分科会報告(4本) 〇現業公企部門(一般現業) 40代から50代の正規職員が少なく、メンタルになる職員が多くなっている。業務の実施にあたり、資格が問われることが多く、その費用負担にも問題がある。

報告者：今田賢二さん(北見市労連)



〇現業公企部門(給食調理部門) 新規採用があり、明るい話題一方で、給食センターの建設に併せ、職員を配置せず、配置転換になるという単組も

ある。現状維持している単組も厳しいことには変わりなく、地本・道本部と連携して合理化を阻止したい。

報告者：本田博美さん(北見市労連)



〇社会福祉部門 部門別講演で美幌町成年後見支援センターの設立と現状のお話を聞いたが、設立に際し、相当苦労あり、実際の支援に要する時間も多し。ニーズ調査でも利用を希望している方が多く、今後ますます伸びていく分野である。

報告者：近藤洋徳さん(北見市労連)



〇保育部門 正規職員と臨時・非常勤職員との職員間の壁があり、人間関係を含め、対応に困る。今回、労働者集会に参加したことで、なかなか男性保育士同士の交流をすることが無いため、参加できてよかった。

報告者：佐藤寛将さん(北見市労連)



〇全体討論(1本) 〇津別町職迫田さん 今回、津別町職が要望して、社会経験採用者向けの学習機会が開催ことには感謝するが、参加単組が少ない。他の単組にも同じ状況の方がいると思う。聞けば気づくこともあり、地本には、社会経験採用者向けの学習の機会をやめることなく、参加者の呼びかけの強化とともに継続してほしい。



〇全体集約・講評 道本部組織部長中村秀人さん(網走市労連)から、「労働安全衛生委員会がうまく機能していない単組が多い。労使協定をしっかりしてほしい。パワハラ相談も多くなっている。相談窓口があることを含めて、しっかり単組でアピールしてほしい。」とお話がありました。

集会の最後は、児玉議長から、「自治体職員を取り巻く状況は厳しいことには変わりない。私たちが住民のニーズや社会情勢に敏感になることで、考え対応できることがあると思う。少しずつの変化が自分たちの職場を守り、やりがいも持てる。この集会で得た情報を単組に帰って仲間に広げ、今後につなげていこう」との集約の後、団結ガンパローで集会が締めくくられました。



自治労網走地方本部は第24回参議院議員選挙の比例区組織内候補「えさきたかし」さんを、北海道選挙区候補「徳永エリ」さんを推せん決定しています。

一言で言えば、政治と我々の生活が密着しているからです。政治ひとつで、私たちの生活が一変することがあります。政権を獲得した政党は、自分たちを支持してくれる人たちのことを中心に政治を行います。例えば、こんなに格差が拡大したのは、誰のせいでしょうか。職場環境がこんなに悪くなったのは、誰のせいでしょうか。

### なぜ、政治闘争が大事なのですか？

今週の土曜日である21日午後1時から、全道庁網走総支部が中心となり、津別町公民館で政治学習会が開催されます。フォトジャーナリストの久保田弘信さんの講演があります。長年にわたり、イラクやアフガニスタンで取材されており、その取材を通して感じたことや現状。報道などでは知りえない様々な体験をされております。今回の学習会では、それらの体験談をもとに、今、政府が進める戦争のできる国づくりがどれほど危険で誤った道であるかなどを学べる貴重な機会です。最前線で活躍される方のお話はめったに聞くことができない貴重な機会です。ぜひ、会場にお越しください。

## 今週土曜日は政治学習会

### 久保田弘信さんを迎えて

今週の土曜日である21日午後1時から、全道庁網走総支部が中心となり、津別町公民館で政治学習会が開催されます。フォトジャーナリストの久保田弘信さんの講演があります。長年にわたり、イラクやアフガニスタンで取材されており、その取材を通して感じたことや現状。報道などでは知りえない様々な体験をされております。

# メデイアでは語られない 中東の真実

フォトジャーナリスト  
久保田弘信氏  
5.21 受付 12:45 入場無料  
開会 13:00  
津別中央公民館 大ホール  
〒092-0224 網走郡津別町字豊永5番地1



講師 プロフィール

大学で物理学を学ぶが、スタジオでのアルバイトをきっかけにカメラマンの道へ。9.11事件以前からアフガニスタンを取材。アメリカによる攻撃後、多くのジャーナリストが首都カブールに向かう中、タリバンの本拠地カンダハルを取材。2003年3月のイラク戦争では攻撃されるバグダッドから戦火の様子を日本のテレビ局にレポートした。また、2016年2月にもイラク北部へいき、ISと戦うクルディスタンのペシメルガに陸軍し現地を取材。

このことは、国だけではなく、都道府県や市町村も同じです。

誰のための政治をしてくれるかが非常に重要です。そのため、自治労北海道本部網走地方本部は、我々の声を代弁してくれる組織内参議院議員「えさきたかし」さんや「あいはらくみこ」さんをはじめ、本年7月投票予定の参議院選挙北海道選挙区候補「徳永エリ」さんを応援しています。

### 執行部のひとりごと

今号から地本NEWSの作成を担当するいち執行委員の渡辺です。不慣れな点があり、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。今回からしばらくの間、執行部の独り言を掲載していきます。執行部の想いなどをお伝えできればと思います。

それでは、私のひとりごと。私の業務の中に、農業者の婚活支援があります。37歳にもなり、未だ自身の私ですから、「人様の世話をする前にまずお前だろ？」ってよく言われます。その言葉、心に突き刺さります。私の血液検査の結果とともに・・・

7月19日から22日まで、今年も反核平和の火リレーが開催されます。今年の夏は、これでダイエットですか？

皆さん、一緒に走りましょう。